

特・実 出 願 依 頼 書 (1/6)

原田国際特許商標事務所 行

受付FAX 03-3888-5144

〒120-0034 東京都足立区千住2-4 伽パツのビル1F

(TEL 03-3888-5133)

申 込 日	平成 年 月 日		
いずれかを選択	特許 (審査請求が必要、拒絶もあり得る、審査は2,3年、存続期間は20年) 実用新案 (審査なし、存続期間は10年、評価書請求は任意)		
ご依頼人の氏名(名称)			
ご担当者名			
ご連絡先 電話\FAX	電話 ()	FAX ()	
E-mailアドレス			
出願経験の有無	初めて 以前に出願したことがある (特実意商)		
出願人の氏名(名称) (法人の場合は代表者名も)	(代表者)		
出願人の住所 (住民票、登記簿上の通りに記載)			
発明(考案)者の氏名			
発明(考案)者の住所 (会社内、自宅いずれも可)			
事前調査必要の有無	不要 必要(調査が必要な場合は別途ご指示願います。)		
出願着手金	¥150,000.- を 月 日までに下記口座に振り込みます。		
銀行名	三井住友銀行	支店名	千住支店
口座番号	(普)5161830	口座名	原田特許事務所(原田国際特許商標事務所)

出願時費用は、出願手続完了後に実費も含めて精算します。

出願人、発明(考案)者につき、追加記載がある場合には、下記にご記入下さい。

出 願 人 発 明 者 (考案)	氏名(名称) 住所 (代表者)
出 願 人 発 明 者 (考案)	氏名(名称) 住所 (代表者)
出 願 人 発 明 者 (考案)	氏名(名称) 住所 (代表者)
出 願 人 発 明 者 (考案)	氏名(名称) 住所 (代表者)

用紙が足りない場合には、(5 / 6)の用紙に追加記載して下さい(必要枚数を複写して下さい)。
なお、以降の記載事項は、お分かりになる範囲でご記入下さい。

特・実 出 願 依 頼 書 (2 / 6)

1. 名称(技術内容を簡明に表示する)
2. 発明の属する技術分野\目的 この発明はどのような技術分野に関するものか？ 何を解決しようとしているのか？ 特定分野であればどの点に着目したものか？
3. 従来技術(解決しようとする課題との関連性) 従来技術はどのようなものか？ また、一般的にはどのように実施しているのか？ 特許公報等があればその番号を記載する。 従来技術の問題点を箇条書きで記載する。 特に公知技術がなければ、一般的な技術背景を説明する。

特・実 出 願 依 頼 書 (3 / 6)

4. 発明の将来性と問題点

この発明の実施、見通し、寿命等があれば、将来性を具体的に説明する。また、残された問題点があれば、その解決の見通しも記述する。他に応用できる分野はないか？

5. 請求の範囲(課題を解決するための手段)

課題を解決する必須の技術要素の具体的な組合せ等を説明する。

特に、模倣されたくない技術は何ですか？

権利化を希望する技術はどのようなものですか？

わからない場合は、記載しなくてもかまいません。

特・実 出 願 依 頼 書 (6 / 6)

7. 発明の効果

発明による効果、長所を箇条書きにして記入する。また、付随的な効果も記入する。
新しい機能、性能、効率の向上、経済性、簡略化等の利点があれば、それも記載する。
いずれの場合も、できれば具体的、定量的に説明する。

8. 図面(方法発明の場合は、フローチャートが図面になる)

出願内容を表す図面を添付する。図面は、製作図の要部等をコピーしても良い。
必須の技術手段にあたる部分は、できれば明確に色付け等で指摘し、その部品名称を記入する。
制御関係等の発明の場合は、ブロック図及び機械装置との入出力関係を明確に記入する。
この発明の最重要な、全体構成を表している図面、その詳細な部分等を記載した図面その他をできるだけ多く添付して下さい。方法等の場合には、できればチャート図を添付して下さい。
図面の名称(正面図・側面図・断面図、チャート図、ブロック図等)も記入する。
図面の中で発明の主要部を表す部分に符号をつけ、その簡単な説明を記述する。
実施形態を文章で説明した場合には、参照するための該当する部分に符号をつけて下さい。

図1

図2

図3

図4

図5

図6

図7

図8

図9

図10